

# Q4.

## ワクチンはどのくらい効果があるの？

### A. 感染・重症化予防に非常に有効で ワクチン接種のメリットは大きいです

新型コロナワクチンには、下表のとおり高い発症予防効果があります。重症化予防効果はさらに高く、感染し症状が出ることもあります。重症化することは極めて少ないです。デルタ変異株に対しても、ワクチンの効果は落ちるものの、重症化を防ぐことができます。

既存株への効果(2回接種)		
	ファイザー	モデルナ
発症を防ぐ	95.0%	94.5%

<参考>日本感染症学会 ワクチン委員会COVID-19 ワクチンに関する提言(第1版)

デルタ変異株への効果(2回接種)		
	ファイザー	モデルナ
感染を防ぐ	42%	76%
重症化を防ぐ	75%	81%

<参考>medRxiv preprint doi: https://doi.org/10.1101/2021.08.06.21261707

# Q6.

## 12歳～15歳の 接種についてどう思いますか？

### A. メリットとデメリットを よく考えて接種を検討しましょう



ワクチンは新型コロナウイルス感染症の感染・発症・重症化予防に高い効果があります。これまで子どもは感染しても軽症で後遺症も起きにくいとされ、一方でワクチン接種後の副反応は若年成人と同様に起こることから心配される方も多かったと思います。しかし、デルタ変異株が流行し、学校や部活動、学習塾での集団感染が報告され、子どもの重症化も報告されるようになってきています。全国的に12歳からの接種も進んでいますので、メリットとデメリットを考えた上でご判断いただくとよいでしょう。

# Q5.

## ワクチンの副反応って？

### A. 免疫を作るときに起きる反応で、 多くは数日以内に回復します

副反応は体がワクチンに反応して起こるもので、何らかの不快感を伴います。ほとんどは免疫ができるときに起こる症状で、24～48時間でほぼ軽快します。

	接種部位の痛み	倦怠感	頭痛	38℃以上の発熱
1回目	70-80%	30-40%	30-40%	1-4%
2回目	70-90%	50-60%	50-60%	10-18%

<参考>JAMA. 2021;325(11):1101-1102. doi:10.1001/jama.2021.1967

まれに、下表のとおりアナフィラキシー(重いアレルギー症状)や心筋炎が起こることがありますが、アナフィラキシーはアレルギー症状の有無によりリスクを考え、接種後の経過観察で早期に対応することが可能で、心筋炎もこれまでのところほとんどは軽症で回復しています。

重い副反応の発生率		
	ファイザー	モデルナ
アナフィラキシー	0.00047%	0.00025%
心筋炎 (12～39歳、2回目接種)	0.0008%	0.00198%

発生率はきわめて低く、治療方法があります！

<参考>Advisory Committee on Immunization Practices (ACIP) June 23, 2021資料

自らも感染しない、  
人にも感染させないために  
大切なことは…

- 1 ワクチンの接種
- 2 ワクチン接種後も  
感染防止対策を続ける



## 新型コロナワクチン接種予約のお知らせ

津市のワクチン接種は、病院やクリニックでの個別接種が週1万3,000回(約8割)、津センターパレスと久居インターガーデンでの集団接種が週3,000回(約2割)のペースで進んでいます。病院やクリニックでの個別接種は、比較的早い日程でご予約が可能となっています。



接種協力  
医療機関一覧



ワクチン接種  
予約サイト